

六十谷の子

有功東小学校共育情報誌 第87号

平成25年10月1日

和歌山市立有功東小学校

TEL 073-462-1322

FAX 073-462-3139

“ヒガンバナ” にことばの豊かさを感じます

今年の9月は警報でスタートしました。9月2日は大雨警報が発令され、臨時休業となりました。やっと3日に始まったと思ったら、4日は授業中に大雨警報が発令され、給食を早めて子どもたちを下校させました。また、16日には、「特別警報」なる新しい警報が滋賀県などに発令され、自然災害の恐ろしさを再認識しました。特別警報が頻繁に出されることのないようにしてほしいものです。

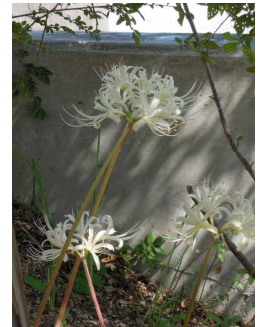
田のあぜ道に赤い彼岸花が咲き始めたころ、今年も校庭に白い彼岸花が咲きました。「シロバナヒガンバナ」という名前だそうです。白い花ですが、中心の方は少しピンク色をしています。白い彼岸花を見ていると、運動場に出て行こうとしていた女の子が、「校長先生何してんの？」と声をかけてくれました。「この花知ってる？」と尋ねると、「うーん？知らん。色違いやったら見たことあるけど」と走って行きました。「色違い」という表現に何となく楽しくなっていました。

ヒガンバナは、昔は墓の周りにも咲いていたので「シビトバナ」などとも言われ、不吉な花だと思われがちです。4年生の国語で学習する「ごんぎつね」でも兵十“おっかあ”の葬列の場面の挿絵に赤いヒガンバナが描かれていたのを覚えている方も多いのではないのでしょうか。ヒガンバナには毒があり、ネズミやモグラや虫などの生き物から田や墓を守るために人間が植えたものだともいわれています。田のあぜ道に咲きそろうヒガンバナは実りの秋を守ってきたのかもしれない。ところで、ヒガンバナがたくさんの別名をもっているのをご存じでしょうか。方言も含めると1000以上あるともいわれています。「曼珠沙華（まんじゅしゃげ）」はよく使われますね。これは見た人を悪から守る「天界の花」という梵語だそうです。キツネバナ、カミソリバナやジゴクバナなどもよく使われますが、「ハミズハナミズ（葉見ず花見ず）」という別名もあります。これは“花が咲く時に葉は見えず、葉が出る時花は見えない”ことからつけられた名前だそうです。またこのことから、花と葉が互いのことを思い合う「相思花」ともいわれます。

秋の彼岸が近づくと一斉に咲きそろう「彼岸花」、最近は園芸の対象ともなっているようですが、花の美しさだけでなく別名でもずいぶん楽しめそうです。

たくさんの名前を持つ「ヒガンバナ」は、ことばの文化の豊かさも表しているように思います。方言という地方ごとの名前の違いもありますが、花の形や咲いている場所、生活習慣などから生まれた名前がたくさんあるようです。昔の人は見たり、匂いをかいだり、触ったり、感じたりして花の特徴を捉え、名前をつけたのでしょう。ことばのおもしろさ、文化の豊かさを感じます。学校教育においても国語力や言語力の大切さが言われています。豊かなことばの力をつけるためには、実際に物を見たり触ったりすることが大切です。その物に関わってこそ感じるがあります。2学期は1年のうちでも最も長く大切な学期です。豊かな体験で子どもたちのことばの力を伸ばしていきたいです。

(2013.9.19 記)



名古屋フィルハーモニー交響楽団が来てくれます！！

10月5日（土）の運動会に向けて子どもたちは一生懸命頑張っているところです。そんな中10月3日に「名古屋フィルハーモニー交響楽団」通称「名フィル」が本校に公園に来てくれます。これは、毎年文化庁が行う「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」一つで、和歌山市内の学校に名フィルが来るのは2度目になるそうです。およそ80人の楽団が来て、第1部の〈アニマルランド〉では『ウィリアム・テル』序曲の「スイス軍の行進」などを、第2部の〈物語ランド〉では、劇音楽『ペール・ギュント』や「ピリブ」などの演奏を聴かせてくれます。また、6年生の代表がピアノで「猫ふんじやった」を演奏します。子どもの弾くピアノとオーケストラとのコラボ、どのような演奏会になるかとても楽しみです。

これに先立ち、9月10日にワークショップがありました。バイオリンとファゴットと打楽器だけの演奏でしたが、音色の美しさ、音のおもしろさに子どもたちも感心していました。音楽室にある大太鼓や小太鼓だけでもいろいろな音が出て、演奏ができることにもびっくりしていました。

10月3日午後から開かれる“秋のコンサート”がとても楽しみです。



4年生が消防署を見学！

9月17日、4年生が社会科の学習で紀伊にある北消防署の見学に行きました。子どもたちが説明を聞いている最中も出動の放送が入り、救急車が急いで走って行くこともありました。署員の皆さんは子どもたちに丁寧に説明してくれました。

消防車ではポンプ車の役割や仕組み、消火ホースの構造などを教えてもらいました。実際の火災の時に使う重い酸素のボンベを背負わせてもらったり消防車に座らせてもらったりもしました。また、救急車に乗せてもらい、救急救命士から救急車の中の様子も説明していただきました。ドラマなどで救急車の中の様子が映し出されることがありますが、たくさんの機械や道具が並んだ救急車の中になると子どもたちも少し緊張した様子でした。

消防署の役割やその大切さを実感した学習となりました。



しゃぼん玉教室

9月14日、校区子どもセンターの事業でシャボン玉教室が開かれました。

園部にお住まいの石橋さんが液といろいろな道具を用意してくださり子どもたちを楽しませてくれました。体が入りそうなくらいの大きなしゃぼん玉に参加した子どもたちは大きな歓声をあげていました。



< 10月の行事予定 >

日		主な行事
3	木	名古屋フィルハーモニー演奏会
5	土	運動会（雨天順延）
7	月	振替休業
9	水	伝達集会
14	月	体育の日
17	木	5年合宿（紀北青年の家）～ 18日
18	金	6年劇団四季公演鑑賞
24	木	就学時健康診断
25	金	秋の遠足（予備日31日）
26	土	市陸上協議大会（紀三井寺）
29	火	授業参観・懇談